



角田市

担当課: 市民福祉部角田市健康推進課

住所: 〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35-1

電話: 0224-62-1192

[e-mail: welpark@city.kakuda.miyagi.jp](mailto:welpark@city.kakuda.miyagi.jp)

本市のデータ

(1)面積 147.58km² (平27.3.1)

(2)人口 (人)

S55国調	H12国調	H17国調	H22国調	H27.5.31住基
33,731	34,354	33,199	31,330	30,554
65歳以上人口比率(H22国調)				27.1%

(3)世帯数

S55国調	H12国調	H17国調	H22国調	H27.5.31住基
8,039	9,889	10,277	10,082	11,239

(4)沿革

昭和29年10月1日町村合併促進法によって角田町、枝野村、藤尾村、東根村、桜村、北郷村、西根村の1町6カ村が合併し、さらに昭和33年10月1日に市制を施行し現在に至っています。

(5)産業構造

区分	就業人口	
	H17国調	H22国調
1次	1,633人 9.9%	1,073人 7.3%
2次	6,565人 39.9%	5,714人 38.9%
3次	8,242人 50.0%	7,540人 51.3%
計	16,474人	14,691人

本市の概要

角田市は阿武隈山脈の分脈である300m以下の丘陵性の山地に囲まれ、果樹の栽培が盛んに行われています。中央低地の東寄りに阿武隈川が南から北へ貫流し、その流域の平坦地には肥沃な耕地がひらけ、おいしさと安全性を迫及した米の産地となっています。

特に観光面では、角田市の食ブランドをリードする食材「米・豆・梅」地域のイメージをリードする宇宙とスポーツが「夢」、歴史的魅力を象徴する「牟宇姫」と、角田市は「こめ・まめ・うめ・ゆめ・ひめ」の5つの「め」の魅力でブランドづくりに取り組んでいます。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

本市における自殺者数は、平成12年から10年間について、年間10人前後で宮城県の自殺死亡率を上回って推移しており、平成19年及び平成21年は県内ワースト3位であった。

そこで、自殺をめぐる現状と課題を明らかにし、自殺者数ゼロを目指し、関係機関との連携のもと総合的に取り組みながら、平成24年3月に角田市自殺対策推進計画「角田こころつながり生きようプラン」を策定しました。プランには、市民一人ひとりが共に輝けるまち角田を基本理念に、市民が主体となって推進する3つの基本目標を掲げ、対象に応じた一次予防から三次予防までの施策を定めました。

<具体的な取組み>

総合的な取組の推進及び関係機関との連携【平成23年～】

- (1) 角田市自殺予防対策推進連絡協議会の設立（構成:22団体）
- (2) 角田市自殺予防対策推進実務者会議設置（構成:10団体）
- (3) 角田市自殺予防対策庁内推進会議設置（構成:庁内19部署）

一次予防 (地域づくり)	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニケーション技法を普及する。 • ストレスマネジメントについて学ぶ機会をつくる。 • 死生観や死の受容について学ぶ機会をつくる。 • 心に響く心地よい言葉に触れる機会をつくる。 • 近所や地域の人々、公共施設の職員等に、普段から声をかけてもらえる顔の見える人間関係を築く。 • 傾聴、受容、共感の態度を体験できる学習の機会をつくる。 • ありのままに自分を受け入れ、「楽しい」「幸せ」と感じられる機会をつくる。(高齢期)
二次予防 (ハイリスク者への支援)	<ul style="list-style-type: none"> • うつ状態に早めに気付く。 • 関係機関につなぐ。 • 未遂者の原因・動機・支援方法を探る。 • 本人・家族への支援
三次予防 (遺族への支援)	<ul style="list-style-type: none"> • 思いを整理する機会をつくる。 • 生活していけるための情報提供をする。

施策		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	対象			地域住民	事業所	子育て関係者
一次 予防	自己肯定感を高めるための普及啓発	・講演会(睡眠、うつ病、)	・ストレスとメンタルヘルス		・私を元気にしてくれた言葉募集・冊子配付(小中学校)	・クリアファイル
	孤立・孤独を防ぐための人間関係作り			・高齢者サロンについて(打ち合わせ)	高齢者サロンについての研修会	
二次 予防	ハイリスク者の早期発見と早期対応	・自殺予防普及啓発リーフレット全戸配布(県作成)		・自殺予防対策推進計画ダイジェスト版全戸配付		・対象:教育関係者・PTA
		・自殺予防街頭キャンペーン	・ゲートキーパー養成講座開始		・広報に隔月で自殺予防コーナー設置	
		・講演会(悩みを抱えた方への接し方)				
		・広報活動(広報紙、自治センターだより、市ホームページ)				
		・関係課と連携し、各種相談事業等				
三次 予防	ニーズの理解と適切な支援	・グリーフケア等パンフレット配布			・自死遺族の会の情報を広報に掲載 自殺予防講演会で遺族の会活動紹介	
その他の施策		心のニーズ調査実施	H24.4自殺予防対策推進計画策定			